



船橋市議会議員（市民社会ネット）

浦田秀夫通信

第 102 号
2014 年 3 月

自 宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL&FAX 047- 466-6019
事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL&FAX 047- 461-1350
メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ浦田秀夫で検索

子育て・医療・介護・福祉に力点 一般会計・過去最大の規模

市の新年度予算などを審議する第 1 回定例市議会が2月24日から開かれています。

今回市長として初めての予算編成となった松戸徹市長は市政執行方針で、「後期基本計画」の各事業の着実な実施とともに、公約で示した施策を着実に実現することにより、将来の船橋にとってさらに強固な基盤をつくり発展していくための第 1 歩を踏み出す年にしたいと述べ、市長選挙で公約した「子どもたちのために」「災害に負けないまちづくり」「医療・介護・福祉を手厚く」「かけがえのない自然を守る」「未来に向けた都市基盤の整備」などを重点的に実施したいと述べました。

予算の規模は一般会計が1.907億6.000万円で、前年度に比べて6.5%の増。6年連続で増額予算となり、過去最大の予算額となっています。特別会計・企業会計を含めると3.338億円、4.7%増です。

保育園の待機児童対策

① 平成 26 年度に認可保育所の定員を 470 名増員し、さらに 335 名分の整備補助に加え、公募による 4 園の整備を予定。



② 将来、認定子ども園

へ移行することを要件に長時間預かり保育を実施する幼稚園に運営費の一部を助成する。

② 教育と保育を総合的に提供するため、認定子ども園へ移行を希望する幼稚園に施設整備費の一部を助成する。

（コメント）2月1日現在で 1.670 人の待機児童が発生しています。これらの待機児童を解消するには不十分です。

認可保育園のさらなる整備と新たな子育て支援制度を活用した幼稚園の保育事業への参入を積極的に促すことが必要となっています。

「放課後子ども教室」の開設

放課後の子どもの安心・安全な活動場所を確保するため、余裕スペースや教室などを活用し、地域の方々の参画を得て、勉強・スポーツ・文化活動・地域住民との活動の場を提供する「放課後子ども教室」を開設する。26 年度 5 校で試行実施し、順次拡大していく。

（コメント）27 年度から始まる子ども子育て新システムでは、放課後ルームの対象者が現在小学 3 年から 6 年まで拡大されます。その受け皿としての本事業ですが、放課後ルームの増設も必要です。

スクールカウンセラーの全校配置

いじめや不登校など、児童に係る問題解決のため、スクールカウンセラー（臨床心理士など）を小学校に配置し、児童や保護者が安心して悩みや心配事を相談できる体制をつくる。

（コメント）市長の公約の一つで、各校に週 1 日 6 時間、年間 35 日配置する計画です。

中学生への学習支援

生活保護世帯やひとり親家庭の中学生を対象に学習を支援し、学力の向上を図るなど、高校進学のための支援を行う。



(コメント) 一昨年の第3回定例市議会で生活保護世帯などの貧困家庭の子が学習環境に恵まれず進学を諦め、学歴がハードルになって貧困に陥る「子どもの貧困連鎖」を指摘し、これを断ち切るため学習支援の必要性を質しました。

今回、実現することになりました。

「こども未来会議室」を設置

子どもたちと市長が船橋市の未来を語り合う「こども未来会議室」を設置。中学生を対象に年5回程度開催し、子どもたちの視点を活かした市政運営に繋げていく。

(コメント) 市長の選挙公約ですが、子どもたちに明るい未来を残すことが大人の責任です。

子宮頸がん検診に HPV 検査を追加

子宮頸がんの早期発見・早期治療のため、30代の子宮頸がん検診受診者の検査項目に HPV 検査を追加する。

高齢者(65歳以上)を対象にした肺炎球菌ワクチンと乳幼児を対象にした水痘ワクチンの接種を新たに実施する。

(コメント) 昨年の臨時市議会の代表質問で「子宮頸がんワクチン接種で重篤な副作用が発生していることからワクチンよりも検診の充実を求めました。検診の充実を評価します。

地域包括ケアシステム推進本部を設置

高齢者が住み慣れた地域で安心して健康な生活を送るために、住まい、医療、介護、生活支援などを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」を推進するために「地域包括ケアシステム」推進本部を立ち上げ、推進室を設置する。

(コメント) 急速に進む高齢化に対応するため地域包括ケアシステムの構築を急がなければなりません。スピード感が欠けています。

また、施設を必要とする方のために、特別養護老人ホームなどの施設整備も必要です。

バス停に屋根やベンチの設置

①高齢者の外出支援のため、バス停留所に屋根やベンチの設置を進める。設置箇所や優先順位などの計画を定め、屋根やベンチを設置するバス事業者に設置費の一部を補助する。

高齢者や障害のある人で、親族や近所などから支援を受けられず、自力でゴミ収集ステーションまでゴミを出すことが困難な方に対して、職員が戸別に収集する実証事業を一部の地域で実施する。

(コメント) 両事業とも早期に全市で実施することが必要です。

防災対策、雪害対策も必要

①平成27年4月の開設をめざし、行田2丁目に「防災備蓄センター」(仮称)を整備する。

この施設は、災害発生時の物資の集積・輸送拠点としての機能を併せ持つ防災備蓄倉庫として整備する。

災害弱者と言われる子ども、高齢者、障がい者などが利用する市の福祉施設に食料や毛布、照明器など非常用備蓄品を整備する。

避難対象地域や避難路の指定など津波避難計画を策定する。

(コメント) 大震災や台風、豪雨だけでなく、今年は大雪の被害も発生しています。家族や地域だけでは道路や歩道などの除雪が困難な場合があります。市の雪害対策が必要となっています。

大穴近隣公園の用地買収

都市に潤いを与え、防災面からも重要な公園・緑地の整備を行うため、26年度は大穴近隣公園(仮称)の用地買収、基本計画・設計などを行う。

(コメント) 船橋市の一人当たりの公園面積は2.85平米で全国で最低のレベル。もっと公園や緑地の整備に積極的に取り組むよう求めていきます。

この他に、西浦下水処理場の放流水の落差を利用して、市内企業が開発中の小水力発電装置の実証実験の実施。消費税率引き上げに対する緊急の経済対策として商店連合会が発行するプレミアム付き商品券のへ助成。東消防署への高規格救急車の配備、児童相談所設置についての検討会の立ち上げなどが新規事業として予算化されました。

北部清掃工場の建て替え

余熱利用施設も併設

稼働開始から 30 年を経過し、老朽化が著しい北部清掃工場の建て替え事業が平成 25 年度から着手されています。

総工事費は現工場の解体費用も含めて約 135 億円で余熱利用施設も合わせた施設の稼働開始は平成 29 年 4 月に予定されています。

新工場は、現工場の隣接に建設され、最新の処理技術により、排ガスによる環境負荷を可能な限り低減します。

また、ごみ焼却を利用した発電設備によって施設の運転に必要な電力をすべてまかない、余剰電力は電力会社に売電するなど、エネルギーの有効活用が図られます。

焼却処理能力は、ごみの排出量が減少傾向にあることから、現在の 1 日 435 トンから 381 トンとなります。



(完成イメージ図)

焼却によって発生した熱を利用した温浴施設も併設されます。

大浴場やサウナ、露天風呂に加えて、歩行浴槽として使用できる健康浴施設などが整備されます。

南部清掃工場についても平成 32 年稼働にむけた環境影響評価調査や事業者選定作業が 26 年度実施されます。

議会基本条例制定に向け

特別委員会設置を提起

地方自治の 2 元代表制（市長も議員も直接の選挙で選ばれる）の一方の代表機関である議会が、もう一方の代表である市長に対する監視機能を高め、市民の立場に立った政策提言能力を高めるために、議会及び議員の活動原則や議会に関する基本的な事項を定める議会基本条例制定を 2 年半前に提起し議論してきたが、未だに議会運営委員会全体の合意になっていません。

この間、議会改革の理念を定め、委員会の分散開催やインターネット中継、市長への反問権の付与、本会議での一括質問方式から分割質問方式、さらに一問一答方式も可能にする方式の試行、議会だよりの紙面の改善などを実現してきました。

こうした議論と実績を集大成し、さらなる議会改革を進めるために議会基本条例制定のための特別委員会の設置を提起しました。

今期の議員の任期は後 1 年 4 ヶ月です。議会基本条例制定には最低 1 年は必要です。

今議会で議会基本条例制定について合意が得

られないと今期中の実現は事実上不可能となります。

議会基本条例の理念の一つが議員間討議と合意形成です。合意が得られるよう粘り強く議論を行いたいと思います。

委員会のインターネット中継開始

議会改革の一環として、常任委員会や議会運営委員会、予算特別委員会のインターネット中継が今議会から開始されました。

これまでは、本会議のみインターネット中継がおこなわれていましたが、議案や請願・陳情の実質審議は委員会で行われますが、審議の過程を市民により積極的に公開しようとするものです。

また、本会議の質問方式についても、これまでの一括質問方式に加え、分割質問方式を試行してきましたが議場改修によって対面式質問席ができたことから、第 1 回定例会市議会からは、一問一答方式も可能になる方式が試行されることになりました。

これらの質問方式を活用することによって、議会を傍聴する市民により判りやすく、また議論がより深まることが期待されます。

列車非常停止ボタンのない

踏切で年配高齢者が転倒

市民の方から次のようなメールを戴きました。

「新京成線滝不動駅～高根公団駅間に滝不動2号踏切がありますが、この踏切に列車非常停止ボタンがありません。



年末に滝不動2号踏切を横断中に前を歩いていた杖をついた年配男性が踏切内で転倒してしまいました。

転倒後数秒後に踏切警報が鳴りだしてしまい、私と偶然いた女学生で年配男性を救助し事なきをえることができました。

後日、列車非常停止ボタンが無いか確認したところ、当該の踏切には設置されておりませんでした。

また、この踏切は曲線上に設置された踏切のため高低差があり、自家用車でも減速して通過しており、お年寄りや車椅子を利用して横断する場合は通常の踏切より時間を要すると思います。

何かあった際に滝不動駅へ通報しようにも早朝・夜間は無人駅であり、列車非常停止ボタンが必要と思いますが、如何思われますか。

列車非常停止ボタンがない踏切は、滝不動2号踏切に限った話ではないと思いますが、踏切

で事故が起こってからは遅いと思うのですが。」という内容のメールでした。

市の交通政策を通じて、新京成電鉄株式会社には当該踏切への列車非常停止ボタンの設置や、列車非常停止ボタンのない踏切は他にはないのか問い合わせ、また、他の鉄道線でも列車非常停止ボタンのない踏切があるのかどうか調査をお願いしました。

夜間無人化された駅間に集中

未設置踏切は10カ所

新京成電鉄から「滝不動2号踏切については、平成26年度に列車非常停止ボタンを設置する予定であることや、他の未設置踏切9カ所についても計画的に設置すると」の回答がありました。

滝不動2号以外の未設置踏切は、鎌ヶ谷大仏3号、三咲2号・3号、高根木戸2号、薬園台2号・3号・5号、前原2号です。

未設置踏切は、市や周辺自治会・町会の反対を押し切って夜間・早朝の無人化を実施した前原駅、高根木戸駅、滝不動駅、三咲駅間に集中しています。無人化する前にまず列車非常停止ボタンを設置すべきでした。

この問題、議会でも取り上げ新京成電鉄に列車非常停止ボタンの早期の設置を求めたいと思います。

新京成電鉄以外では、京成電鉄の海神2号踏切が未設置でしたが、今年度中に設置予定とのこと。

田中優子さん講演会

今年4月から東京6大学では初めての女性総長として法政大学総長に就任し、TBSサンデーモーニングでコメンテータなどを務め、江戸時代の研究者で有名な田中優子さんの講演会が、4月19日(土)午後2時から船橋市民文化ホールで開催されます。主催は九条の会・千葉地方議員ネットと九条の会・ちばけん。

テーマは「今こそ戦争への流れを止めよう！」～田中優子さんに学ぶ憲法と江戸学～

入場料は500円でチケットを扱っています。参加希望の方はご連絡ください。

浦田秀夫と市民の会総会

日時 4月20日(日)午後1時30分から

会場 高根台公民館 第2・3集会室

参加は浦田秀夫と市民の会員又は、会に入会希望者に限らせて戴きます。

市政報告会のご案内

日時 4月20日(日)午後2時から

会場 高根台公民館 第2・3集会室

第1回定例市議会の報告を中心に市政報告会を開催します。どなた様も自由に参加できます。報告会終了後懇親会を行います。会費は500円。